



【今週の暗唱聖句】

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父があがめられるようにしなさい。マタイ5:16

●ぱっとこの聖句を読むと、人前で自分の良い行いを見せびらかせ、自慢するようにと勧めているように聞こえるかも知れません。しかしこれは正反対の教えでなのです。

●目的は父なる神のすばらしさ

私たちが光を輝かせ、良い行いをするのは私たちが人から褒められ「すばらしい」と言われることではなく、神様がすばらしい、と誉め称えられるためです。意識して神に栄光を帰す生き方を選ぶとき、私たちの最大の問題である自己中心的性質がそぎ落とされていくのです。これこそ人生最大の訓練なのです。

●あなたがたの「光」

そもそもこの光は神様から来る真理の光、愛の光であり、源は神様です。私たちは太陽の光を反射する月のような存在ですから、その光を自慢するとしたら本末転倒です。与えられている光は人のために役立てて行くことが求められているのです。

●あなたがたの「良い行い」

私たちの「良い行い」も私たちに對して示された神の無限の愛への感謝の応答です。ですから私たちは何か

良い行いをする時、一切見返りを必要としなくて済むのです。

神への感謝を私たちの行動の起点・原点にする時、私たちは人から評価されようとされまいと、お礼を言われようと言われまいとどんな場合でも良い行いを続けることができ、さらに自分たちを憎む者たちにさえ、善を行い、彼らを受することが出来るように訓練されるのです。

●宣教の前進のために

マザーテレサがカルカタでの働きに踏み出して行った時、何が起きたのでしょうか。人々の間になぜこんなことが出来るのだろうと疑問が湧きました。多くの方はマザーを「すばらしい人だ」と評してそれでお終いにしていますが、真面目に人生を考える多くの若者たちは彼女の元に弟子入りし、マタイ5:16の生き方を訓練され、真理を見いだして行きました。私たちがこのみことばに生きる時に、人にすばらしい神の道を示していくことができるのです。

【今週の英語】

**Don't ever insult God
by saying that He cannot
use you.**

私のような者を神は用いることはできない、などと言って神を侮辱してはならない。

【先週のMESSAGEより】

イースター・プレゼンテーション

マタイ28:6

ここにはおられません。・・・よみがえられたからです。

●福音は「良い知らせ」という意味ですが、その福音の一番中心にあるのは、「教え」ではなく「ニュース」なのです。そのニュースとはキリストが十字架にかかって事実死に、葬られ、三日目に死者の中からよみがえった、ということなのです。キリストの墓において、天使たちが女たちに語った上記の言葉こそ、そのような意味で福音中の福音ということが出来るでしょう。なぜこのニュースがそんなに重要なのか？それはこの知らせを信じる者に

は、事実、罪からの救いがあり、永遠の命が与えられるからです。

●この救いと永遠の命とは世界中の人々、貧富、東西南北、老若男女いっさい関係なくどんな人にも開かれています。神はこのメッセージを全世界に伝えるために働き人を起こし続け、教会を励まし続け、今では世界中に広がっているのです。だからこそ、イースターは全世界で、あらゆる国の人々の間で祝われているのです。■



【この教会のビジョン (5)】

※短期滞在者、永住者共に愛の絆の中で教会を形成し、霊的、経済的に自立した教会となることを目指す。

地中海沿岸に広がった1世紀の教会には多くの場合、ユダヤ人でクリスチャンになった者たちと異邦人でクリスチャンになった者たちとが共に集まって教会を形成していました。かつての敵であったり、言語・文化等、様々な壁が存在していましたが放っておいたなら交わらなかったこれらの人々を神は敢えて一緒にし、教会を「互いに愛し合う訓練」がな

される場とされました。神は今でも同じことをなさいます。私たちの教会の場合には駐在員、永住者とそれぞれ必要も関心も違う人たちを神はキリストにおいて一つにしてくださいました。愛の反対語は無関心と言われていますが、立場の違う人々の必要や関心に思いを向け仕え合っていくためには「愛のエネルギー」が人一倍必要とされます。私たちの交わりが豊かなものになるよう、また周りの人が入って来たいと思えるような交わりを形成していくためにも想像力を働かせ、創造的になって互いの必要に応じて行きたいものです。

【お役立ちページ】 (このページは以前教会員の方が見つけて下さったものです。)

うる覚えの聖句を調べる時や、特定の言葉が聖書のどこにあるかを調べるのに便利なサイトです。 <http://ebible.echurch-jp.com/>